

## 無駄使いしない人生

令和二年六月二十三日 加茂法話会

### 正法眼蔵 行持

行持 … 行は修行で、修行者としてなすべきこと。持は護持、持続、たもつ、の意。修行を常にやめないこと。修行生活。修行による仏道の護持。仏道修行者の正しい生活姿勢の努力。（仏教語大辞典）

### 波栗湿縛尊者（脇尊者）

第十祖 お釈迦様から法を受け継いだ摩訶迦葉尊者を第一祖として十番目の正当な後継者。

母親の胎内で六十年。生まれ出てきた時にはすでに白髪。手から光を放って経典を取る。

生まれ出て八十年で出家を決意。

周りから老いぼれているからと批判されるが、仏道を究めるまでは脇を床に着けない（横にならない）と誓い、時間を惜しんで修行し、わずか三年で仏道を究める。

このようにされたので脇尊者と呼ばれる。

「**壮齡・耄及**をかへりみることもなかれ、**学道究弁**を一志すべし。**脇尊者に齊肩**なるべきなり。」

若いとか年を取っているとか関係なく、仏道修行によって道理をきわめて、よく理解することに志をひたすらに傾けるべきである。脇尊者に肩を並べるまですべきであろう。